

東アジア分断国家 における「共生」とは

◇目的

東アジアには未だ冷戦構造の残滓がある。国家の分断構造である。それでは、分断状態にある中国と台湾、南北朝鮮における「共生」とは何なのか。平和共存か統一か。あるいは第三の道はあるのか。

ただし同じ分断国家であっても、中台関係と南北朝鮮関係の状況はかなり異なる。「経済協力枠組協議」を締結するほどに経済関係が進展している中台に対し、2000年の南北首脳会談で一旦は進展し始めた南北関係は、現在は再び緊張した関係になっている。

中台および南北朝鮮の関係の今後どのように推移するかは、東アジア全体にも影響を及ぼす。今後(短期および長期)どのように変化すると考えられるのか、あるいは変化を促すための条件は何なのかを、各々の分野でそれぞれ日本の第一人者である専門家によって明らかにしていく。

◇日時: 2011年9月13日(火) 14:00~17:00

◇場所: 国際会議場204室(富山市大手町1-2)

◇講師紹介(五十音順, 敬称略)

- ・磯崎敦仁(慶応義塾大学・法学部・専任講師)
- ・王大鵬(富山大学・経済学部・教授)
- ・中戸祐夫(立命館大学・国際関係学部・教授)
- ・星野昌裕(南山大学・総合政策学部・准教授)
- ・松田康博(東京大学・東洋文化研究所・准教授)
- ・三村光弘(環日本海経済研究所・調査研究部長)
- ・コーディネータ: 今村弘子(富山大学・極東地域研究センター・教授)

----- 申 込 書 -----

お名前	連絡先	(さしつかえなければ) ご所属

連絡先: 電話(076-445-6510)ファクシミリ(076-445-6520)

email:yonehara@eco.u-toyama.ac.jp



CEAKS

CREATION OF EAST ASIAN KYOUSEI STUDIES